

NYマーケットレポート（2013年12月13日）

昨夜の NY 外国為替市場は、欧州市場の流れを引き継ぎ、ドル円・クロス円はやや軟調な展開で始まりました。そして、序盤に発表された米生産者物価指数が3ヵ月連続のマイナスとなったことを背景に、依然インフレは抑制されているとの見方から米国債が買われ、日米金利差縮小を材料に円買いが優勢となりました。また、アジア時間に対円で高値を更新したドルやユーロなどの利益確定の売りが出たことも円買いの材料となりました。しかし、午後に入り、材料に乏しい中、円買いが一服すると、来週 FOMC を見極めたいと思惑から積極的な取引は手控えられ、ドル円・クロス円は小動きの展開が終盤まで続きました。

2013/12/13 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	103.62	103.93	103.37
EUR/JPY	142.49	142.82	142.13
GBP/JPY	169.22	169.83	168.97
AUD/JPY	92.56	92.94	92.28
EUR/USD	1.3754	1.3760	1.3742

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	103.72	103.38
EUR/JPY	142.63	141.92
GBP/JPY	169.37	168.24
AUD/JPY	92.69	92.28
EUR/USD	1.3770	1.3709

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15403.11	+61.29
ハンセン指数	23245.96	+27.84
上海総合	2196.07	-6.72
韓国総合指数	1962.91	-5.02
豪ASX200	5098.43	+35.91
インドSENSEX指数	20715.58	-210.03
シンガポールST指数	3066.02	+6.98

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6439.96	-5.29
仏CAC40	4059.71	-9.41
独DAX	9006.46	-10.54
ST欧州600	309.75	-0.49
西IBEX35指数	9272.70	+0.60
伊FTSE MIB指数	17805.73	+0.86
南ア 全株指数	43185.73	-66.44

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	103.14	103.51	103.00
EUR/JPY	141.67	142.02	141.42
GBP/JPY	168.05	168.42	167.72
AUD/JPY	92.42	92.56	92.07
NZD/JPY	85.26	85.37	84.76
EUR/USD	1.3737	1.3755	1.3712
AUD/USD	0.8961	0.8965	0.8927

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	15755.36	+15.93
S&P500	1775.32	-0.18
NASDAQ	4000.98	+2.57
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	13125.70	+11.31
🇧🇷 ボルサ指数	41884.83	-419.72
🇧🇷 ボベスパ指数	50051.18	-70.43

12/16 経済指標スケジュール

08:50	【日】4Q日銀短観
09:01	【英】12月ライトムーブ住宅価格
10:45	【中】12月HSBC製造業PMI
13:00	【日】11月首都圏新規マンション発売
17:00	【トルコ】9月失業率
17:00	～ 18:00
	【仏】【独】【欧】12月製造業PMI・非製造業PMI
18:00	【ノルウェー】11月貿易収支
19:00	【欧】10月貿易収支
20:00	【英】12月CBI企業動向調査
22:30	【米】12月ニューヨーク連銀製造業景気指数
22:30	【米】3Q非農業部門労働生産性
22:30	【カナダ】10月国際証券取扱高
22:30	【カナダ】11月中古住宅販売件数
23:00	【米】10月対米証券投資
23:00	【米】10月対米証券投資
23:00	【ポーランド】11月財政収支・執行状況
23:15	【米】11月鉱工業生産
23:15	【米】11月設備稼働率

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1234.60	+9.70
NY 原油	96.60	-0.90
CME コーン	420.50	-7.75
CBOT 大豆	1327.50	+3.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.33%	0.32%
3年債	0.68%	0.67%
5年債	1.53%	1.53%
7年債	2.24%	2.24%
10年債	2.87%	2.88%
30年債	3.87%	3.90%

12/16 主要会議・講演・その他予定

(出所:ブルームバーグ)

NY 市場レポート

22:00

ドル/円 103.43 ユーロ/円 142.00 ユーロ/ドル 1.3729

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6453.94	+8.69	ダウ INDEX FUTURE	15718	+36
仏 CAC40	4081.48	+12.36	S&P500 FUTURE	1775.30	+6.70
独 DAX	9034.56	+17.56	NASDAQ FUTURE	3469.75	+14.75

(出所:SBILM)

22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月ポーランド経常収支 -4.66億EUR (予想 -4.48億EUR・前回 -10.24億EUR)

10月ポーランド貿易収支 0.53億EUR (予想 5.97億EUR・前回 6.73億EUR)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11月ポーランド消費者物価指数(前月比) -0.2% (予想 0.1%・前回 0.2%)

11月ポーランド消費者物価指数(前年比) 0.6% (予想 0.9%・前回 0.8%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 30

《 経済指標の結果 》

11月米生産者物価指数(前月比) -0.1% (予想 0.0%・前回 -0.2%)

11月米生産者物価指数[コア] 0.1% (予想 0.1%・前回 0.2%)

11月米生産者物価指数(前年比) 0.7% (予想 0.8%・前回 0.3%)

11月米生産者物価指数[コア] 1.3% (予想 1.4%・前回 1.4%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《生産者物価指数》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月	前年同月比
完成品	-0.1	-0.2	-0.1	0.3	0.0	0.8	0.7
除く食品・エネルギー	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.2	1.3
エネルギー全体	-0.4	-1.5	0.5	0.8	-0.2	2.9	-0.6
消費財	-0.1	-0.2	-0.1	0.4	0.0	1.1	0.6
原材料	-2.6	-0.9	0.5	-2.7	1.2	0.0	-3.3

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	15758.49	+19.06
ナスダック	4014.50	+16.09

(出所:SBILM)

《 経済指標のポイント 》

米 11 月の生産者物価指数は、前月比-0.1%となり 3 ヶ月連続のマイナスとなった。食品は横ばいだった一方で、ガソリンを中心としたエネルギー製品が値下がりし、物価全体が前月水準からやや低下した。前年同月比は+0.7%となった。

①前年同月比の物価上昇率は、夏場に一時やや拡大した後、再び 1%を下回る水準にとどまっている。変動の激しい食品とエネルギーを除いたコア指数は前月比+0.1%と 3 ヶ月連続のプラスだった。

②品目別では、食品は豚肉や牛肉が上がったが、果物や野菜が値下がりした。エネルギー製品全体は-0.4%。ガソリンをはじめ、ディーゼルエンジン燃料や家庭用の暖房油が安くなった。

0 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、来週の FOMC を控えて量的金融緩和策の早期縮小を警戒した売りが出る一方で、前日までの下落の反動による買いが交錯するもみ合いの展開が続いている。

《 欧州のポイント 》

アイルランドは、欧州危機で支援を終了する初めての国となる。支援の終了により、自主的な予算編成や税制の変更が可能になる。アイルランド財務相は「年金をはじめとする手当が削減され、税金が上がる中、改革を支えてくれた国民こそが真の英雄だ」と国民の辛抱をたたえた。

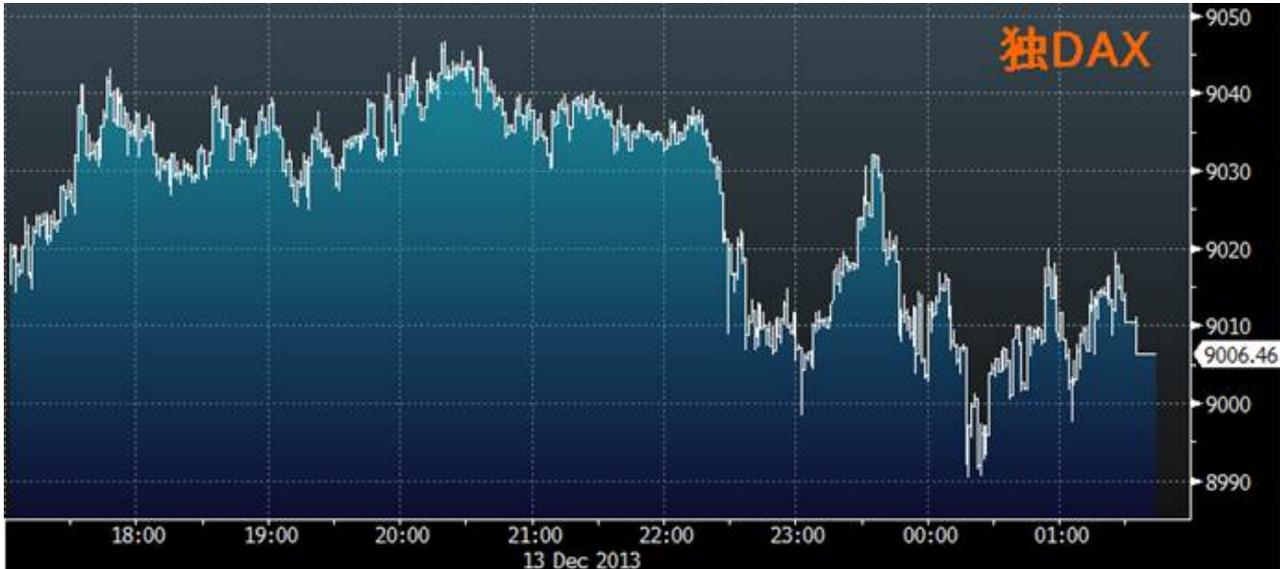
アイルランドは、不動産バブルの崩壊で経営危機に陥った銀行救済のため財政が悪化し、2010年12月ギリシャに次いで EU などの支援を受けることが決まった。これまでの国外からの支援総額は 675 億ユーロ（約 9 兆 6000 億円）に上る。欧州危機ではこのほかスペイン、ポルトガル、キプロスが EU などの支援を受けている。スペインへの支援は来年1月に終了するが、危機の発火点であるギリシャの自立のめどは立っておらず、ポルトガル、キプロスも先行きは不透明だ。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6439.96	-5.29
仏 CAC40	4059.71	-9.41
独 DAX	9006.46	-10.54
ストック欧州 600 指数	309.75	-0.49
ユーロファースト 300 指数	1242.68	-1.98
スペイン IBEX35 指数	9272.70	+0.60
イタリア FTSE MIB 指数	17805.73	+0.86
南ア アフリカ全株指数	43185.73	-66.44

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、来週開催される米 FOMC で量的金融緩和の縮小が決定されるか不透明感があるため、買いを手控えるムードが強く、主要株価は 4 営業日続落となった。



(出所:ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 15759.08 (+19.65)、S&P500 1775.23 (-0.27) ナスダック 4000.57 (+2.16)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、11 月の米卸売物価指数が市場予想に反して下落したことで、インフレは依然抑制されているとの見方が広がり、長期債を中心に米国債の買いが先行した。ただ、来週の米 FOMC を控えて量的緩和の縮小への警戒感も強まっており、相場の上げ幅は限定的だった。

午前の利回りは、30 年債が 3.88% (前日 3.90%)、10 年債が 2.87% (2.88%)、7 年債が 2.24% (2.25%)、5 年債が 1.54% (1.54%)、3 年債が 0.68% (0.68%)、2 年債が 0.33% (0.32%)。

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 9.70 ドル高の 1 オンス = 1234.60 ドルで取引を終了した。

5 : 40

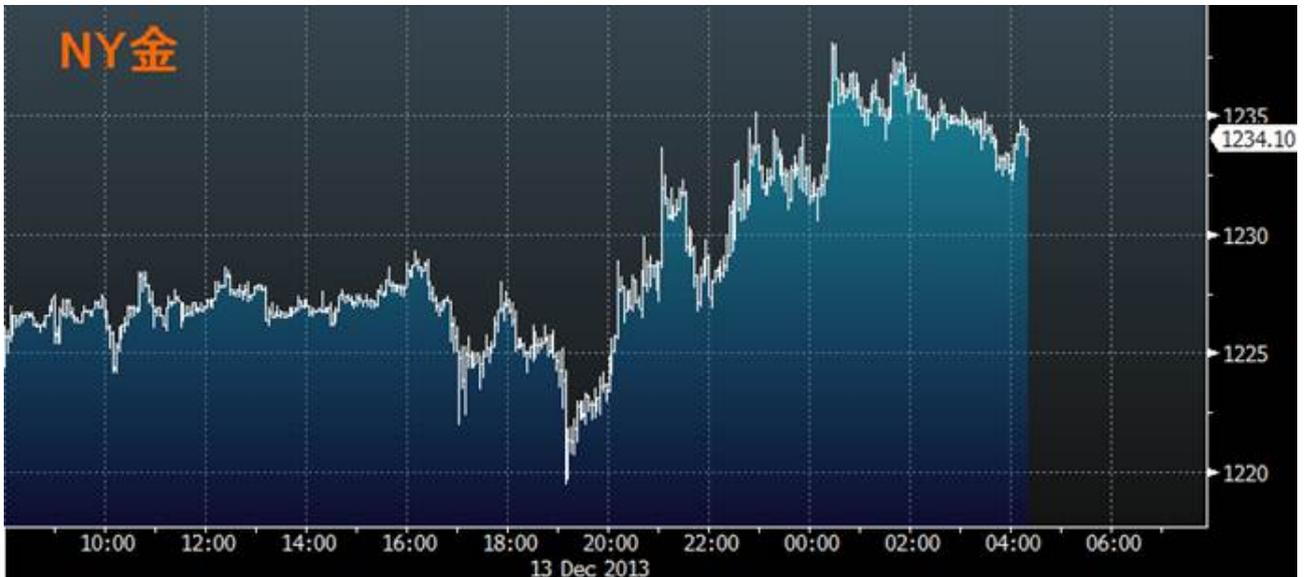
NY 原油は、中心限月が前日比 0.90 ドル安の 1 バレル = 96.60 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1234.60	+9.70
NY 原油	96.60	-0.90

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

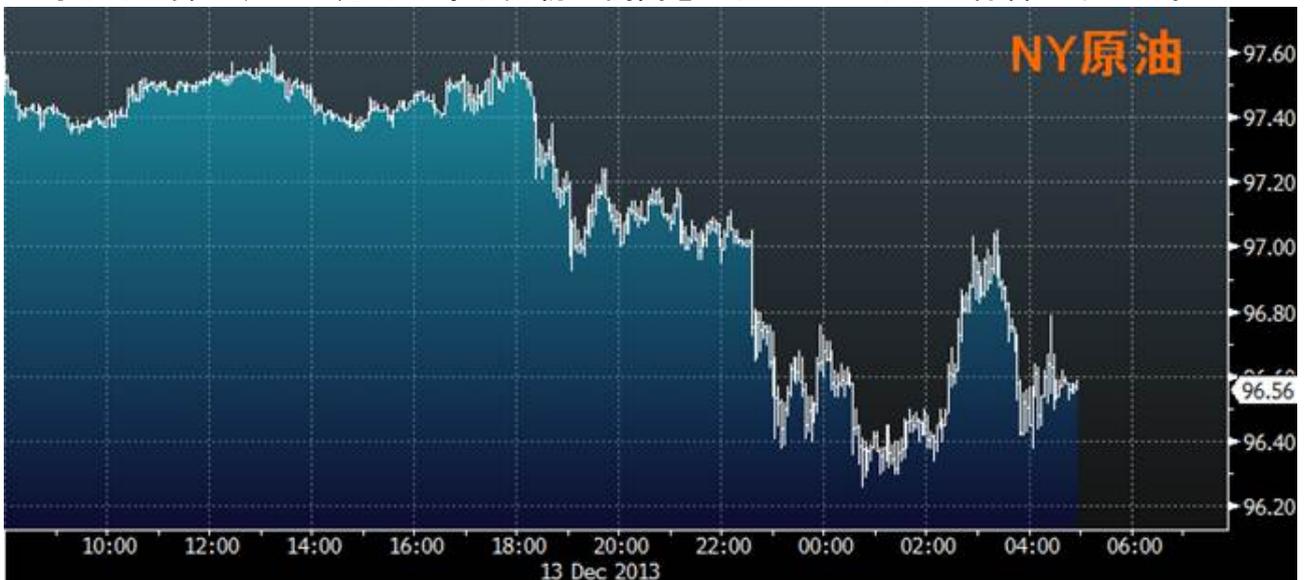
NY金は、前日の大幅下落の反動で買い戻しが先行した。また、米卸売物価指数の下落を受けて米量的緩和の早期縮小への懸念が後退したことも支援材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、リビアで閉鎖となっている石油の積み出し港が再開されるとの報道を受けて、同国からの輸出が増加するとの見方から売りが先行した。また、ドルがユーロなどに対して上昇し、ドル建ての原油先物に割高感が出たことも圧迫材料となった。



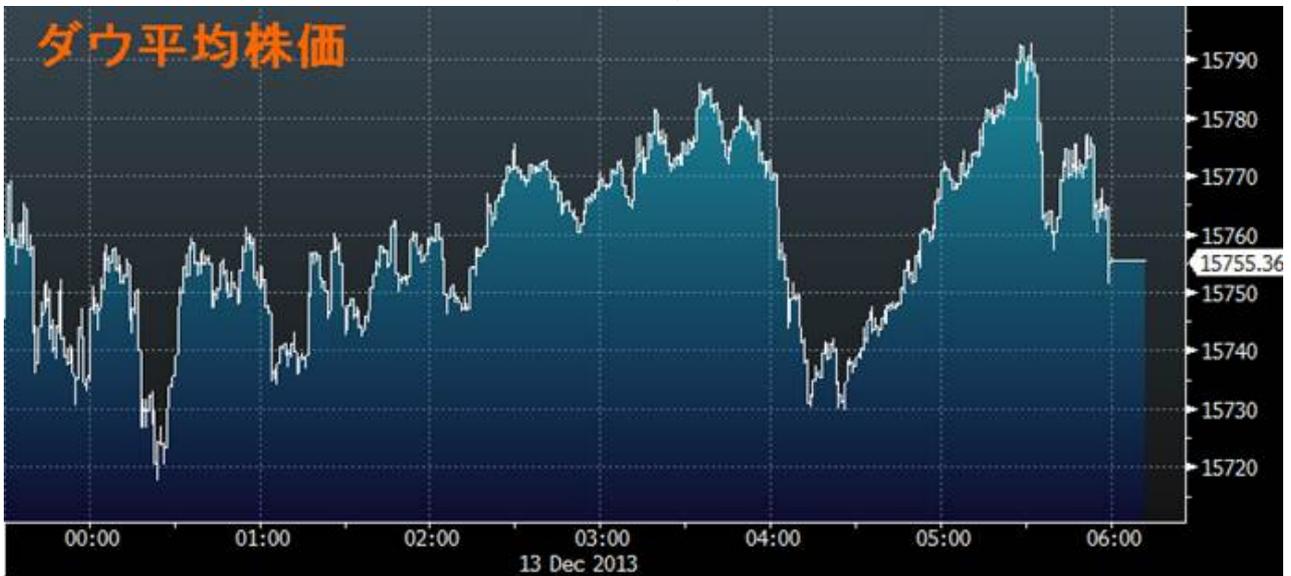
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	15755.36	+15.93	15792.80	15717.92
S&P500 種	1775.32	-0.18	1780.92	1772.45
ナスダック	4000.98	+2.57	4017.45	3992.29

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、来週の FOMC を控えて量的金融緩和策の早期縮小を警戒した売りが出る一方、前日まで 3 営業日続落となった反動による買い出るなど、序盤から売り・買いが交錯するもみ合いの展開となった。その後も週末で材料に乏しく、来週に FOMC を控えて動きにくいこともあり、終盤まで小動きの展開が続いた。



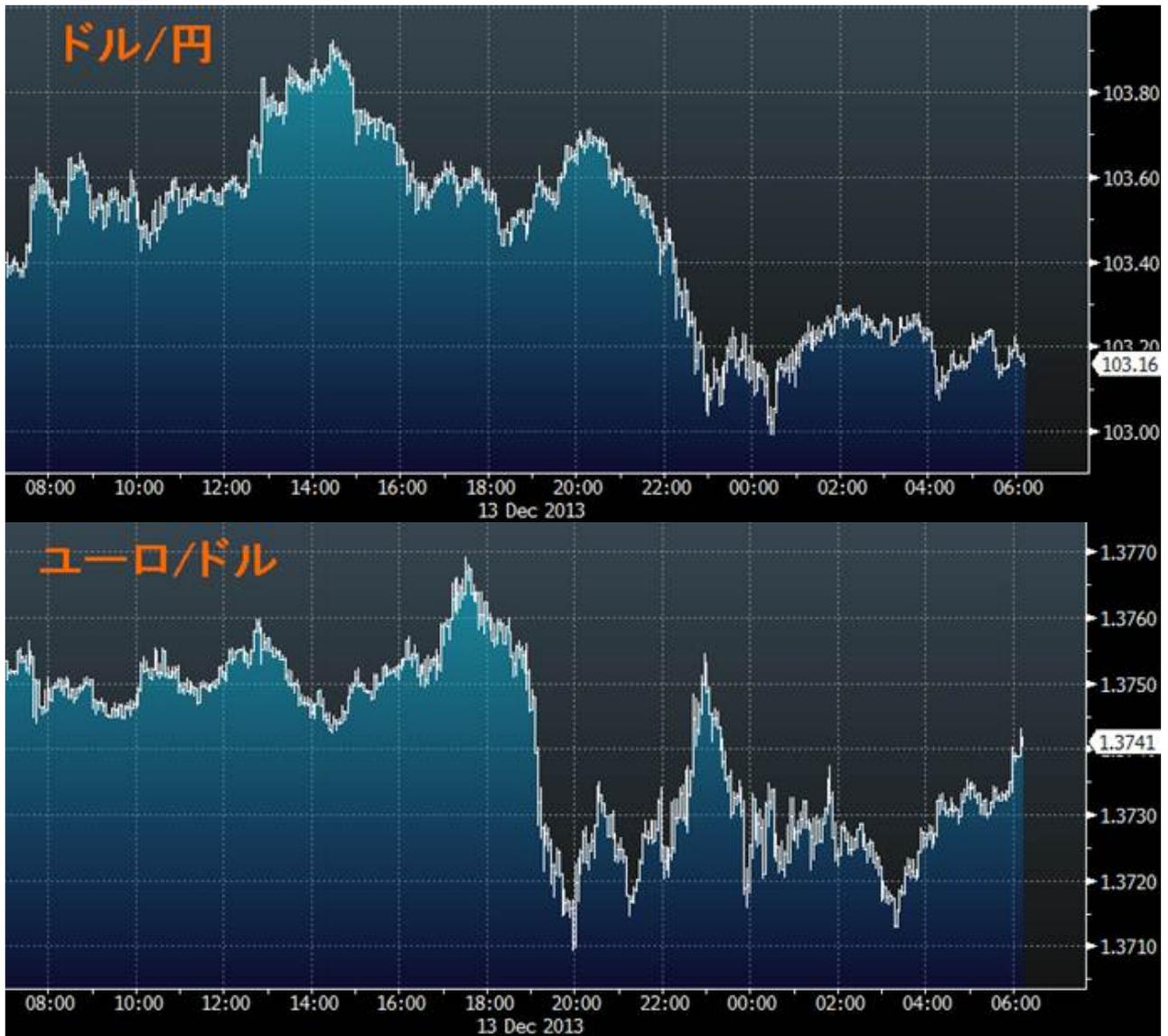
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	103.14	103.51	103.00
EUR/JPY	141.67	142.02	141.42
GBP/JPY	168.05	168.42	167.72
AUD/JPY	92.42	92.56	92.07
NZD/JPY	85.26	85.37	84.76
EUR/USD	1.3737	1.3755	1.3712
AUD/USD	0.8961	0.8965	0.8927

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が予想より悪化したことや、欧米の株価がやや軟調な動きとなったことから、序盤のドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後は材料に乏しく、株価が上昇したことからやや値を戻す動きも見られたものの、ドル円・クロス円は上値の重い展開が終盤まで続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。